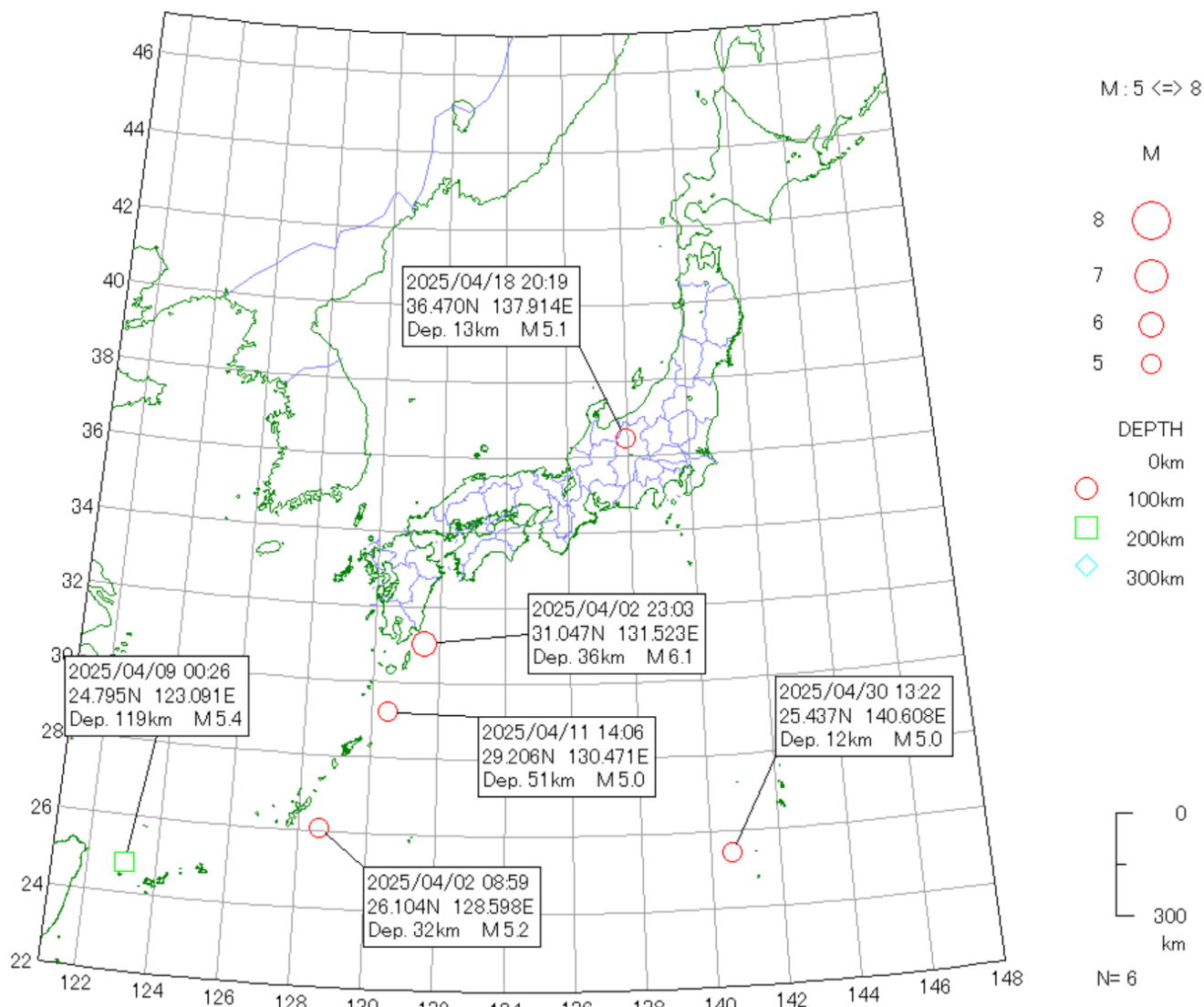


2025年4月の地震活動概観

4月には日本列島およびその周辺ではマグニチュード(M)5を超える地震は6個発生しました。最大の地震は4月2日に日向灘・大隈半島東方沖で発生した最大震度4を観測した M6.1 の地震でした。

2025 4/1 0:0 -- 2025 4/30 23:59

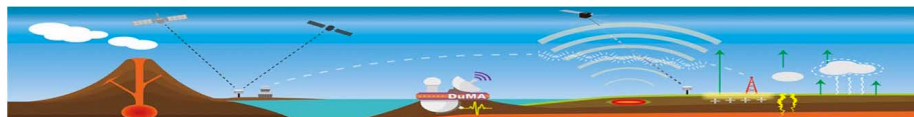


特に話題となった地震は4月18日に長野県北部で発生した M5.1 の地震でした。この地震については、4月21日の DuMA ニュースレターでも取り上げました。これは震源が将来 M7クラス後半の地震発生の可能性が高いとされている糸魚川―静岡構造線の近傍で発生したためです。幸い現時点では地震活動はかなり収まっていますが、もう少し監視が必要と考えています。

これは**b値**と呼ばれる、発生した地震のマグニチュードと頻度分布の関係です。DuMA ウェブでも簡単な説明を行なっています。

<https://www.duma.co.jp/untitled-clfw4>

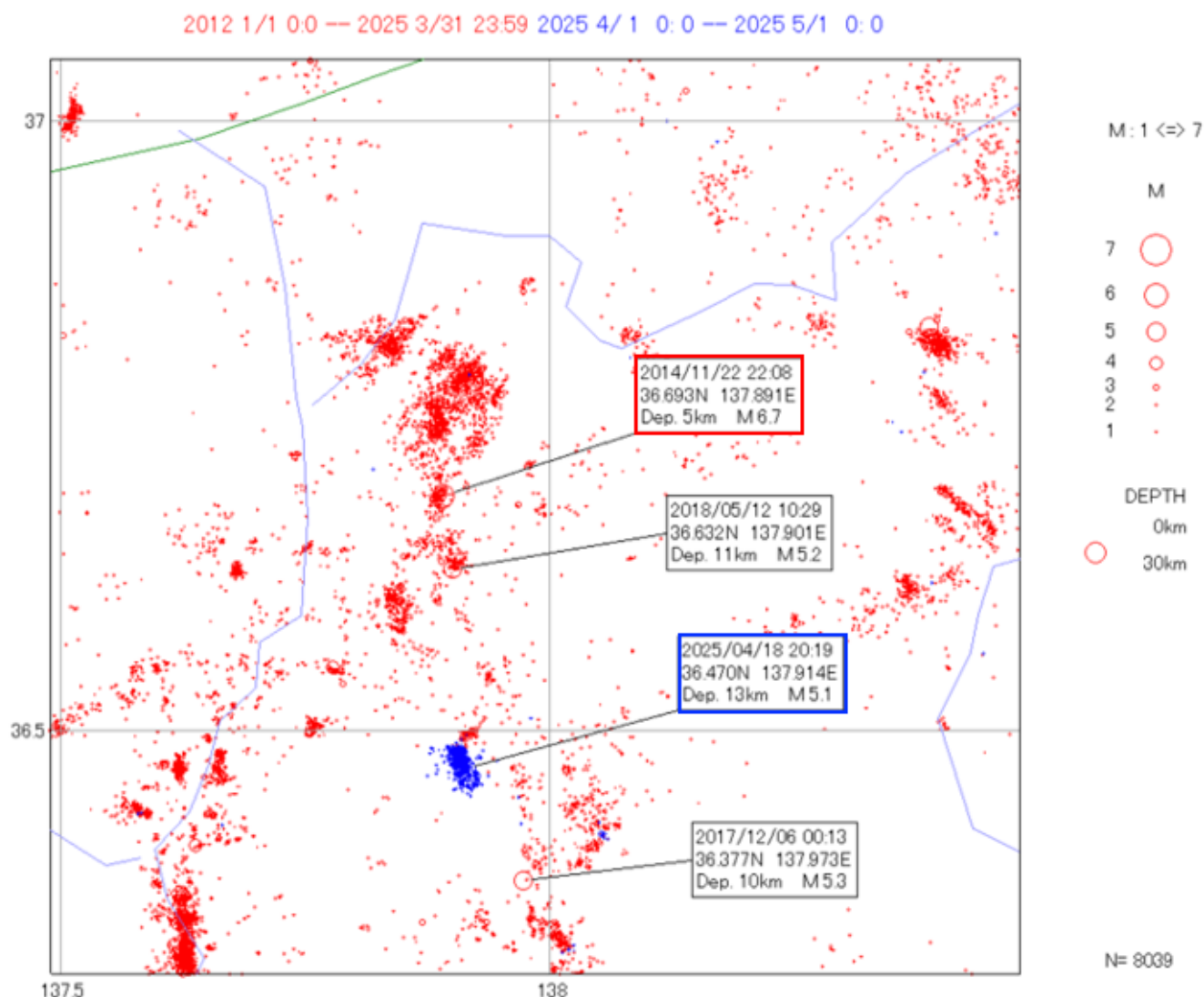
当該地域では、M1以上の地震が5月1日までに 450 個ほど発生しているのですが、4月18日以降の**b値**が周囲の地震活動より小さいようで、もしかすると4月18日の地震が中期的な前震の可能性が存在するのです。



次の図は2012年から2025年5月1日までの長野県北部の地震活動です。M1以上のすべての地震を図示しています。この期間に 8,000 個を超える地震が観測されています。

赤で示したものが2102年から2025年3月までに発生した地震、青で示したのが2025年4月以降に発生した地震です。

この地域では、2014年11月22日に M6.7 の[長野県神城断層地震](#)が発生しています。以下の震源分布でもわかりますが、震源はほぼ南北方向に並んでおり、これが糸魚川—静岡構造線沿いの活断層なのです。



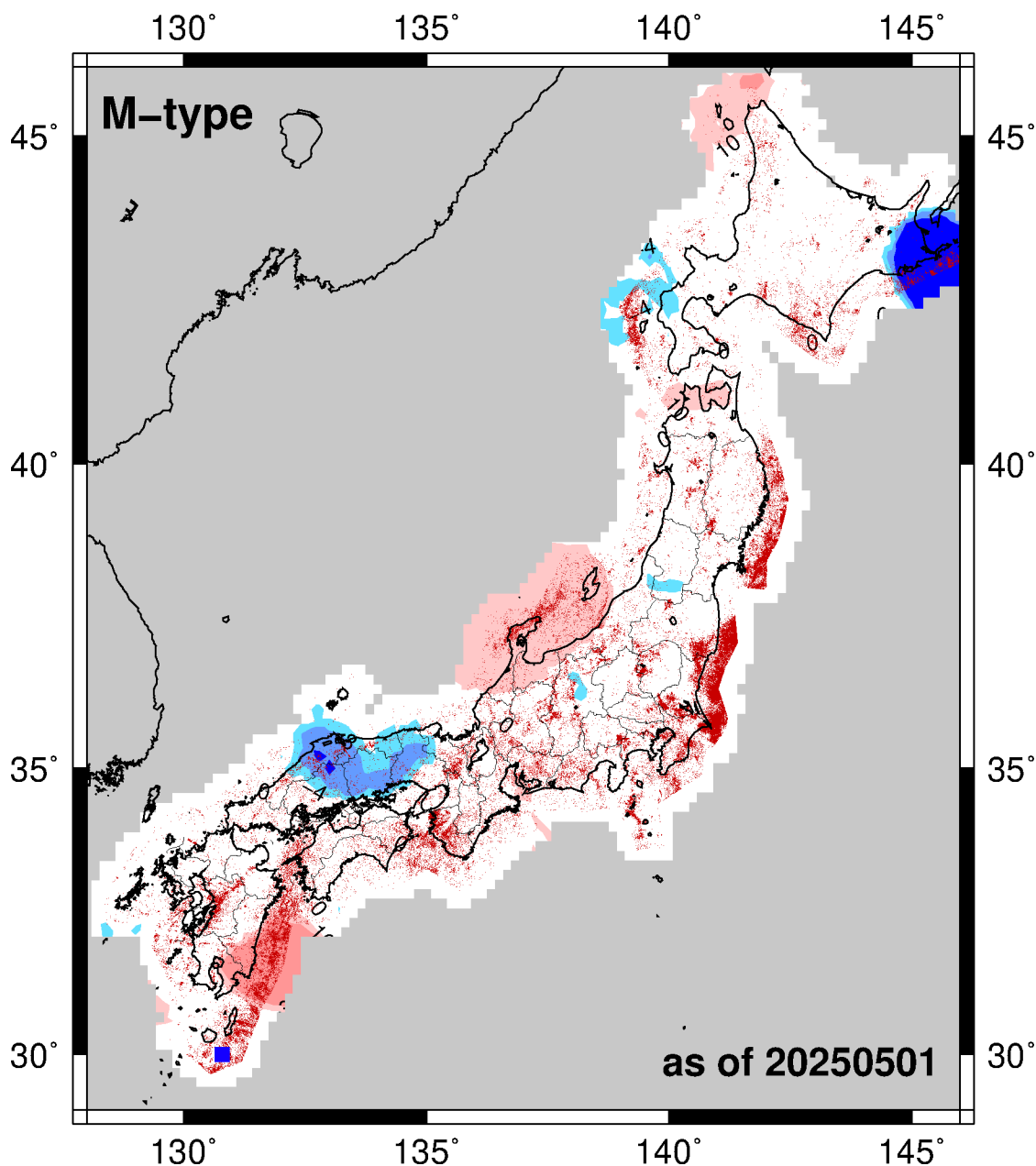
図中に青色で示した地震がこの4月に発生した地震です。この場所ではこれまであまり活発な地震活動はありませんでした。今後も地震活動の「空白域」を埋めるように地震が発生するものと考えられます。



日本列島陸域の地下天気図®

3月24日のニュースレターに続き、日本列島の主に陸域に特化した地下天気図解析です。今週は5月1日時点のMタイプの地下天気図をお示しします。

3月24日のニュースレターでお示した地下天気図とは基本的に大きな変化はありません。中国地方を中心として一部近畿地方に伸びる地震活動静穏化の異常は継続しておりますが、少し解消の傾向が出てきたかもしれません。



北海道東部に青い地震活動静穏化領域が見られるのですが、この異常は精度が高いとは言えないと考えています。これはもともと解析対象を陸域の地震としているためです。



DuMA ダッシュボード

5月5日時点のダッシュボードです。前回2月17日のニュースレターで報告致しました時点から、有効期間満了という事で、三重県沖(Cc)の静穏化異常および九州南方海域(Z)の静穏化異常を削除いたしました。

更新日 2025.5.5

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備 考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常	北海道根室・釧路 沖 (Gg)	Low	静穏化異常の中心は釧路 沖の海域と考えられる 発生してもM6程度か	2024年11月	継続中		2025年4月21日の北海道の解 析では異常が見られない事か ら精度をLowとした
静穏化異常	宮城沖を中心とする アウターライズ 地域 (R)	Medium	日本海溝の東側の地域で 静穏化が継続中 静穏化の中心が南下して きた	2020年9月	静穏化の中 心が現在は 北上して継 続中		東北地方海域の解析で静穏化が 継続して確認できる。ただし静 穏化の中心は青森沖に北上して いる
静穏化異常	中部地方陸域 (X)	Low	中部地方の内陸で地震活 動静穏化を確認	2023年10月	終了	2025年8月迄	複数のパラメータで静穏化が確 認されている。場所は山梨県・ 長野県およびその周辺
静穏化異常	中国地方 (Bb)	High	岡山県を中心とする地域 で静穏化を確認 <u>近畿地方に静穏化が拡大 か</u>	2024年3月	継続中		異常の空間的な形状ははっきり してきた事とMタイプ、Lタイ プいずれでも静穏化を確認
静穏化異常	九州北部 (Y)	Medium	福岡県を中心に地震活動 静穏化を確認、現在静穏 化の中心が西側へ移動	2023年10月	継続中		この地域には警固断層が位置し ている。静穏化面積が小さいの で、M7を超える可能性は低い
活発化異常	能登半島周辺 (S)	High	2024年1月1日、令和6年能 登半島地震が発生！能登半 島の東側（佐渡島側）も西 側も歪の蓄積がさらに進行 している	2021年9月	継続中		11月26日に能登半島西方で M6.4の地震が発生。今後は能登 半島の東側（佐渡島近傍）での 誘発地震の発生が危惧される
活発化異常	紀伊水道沖合 (U)	Medium	2022年5月ごろから活性化。 中部地方以西の地下天気図 と全国を対象とした地下天 気図でも確認できる	2022年5月	継続中	異常の領域が南下 している	もともと地震活動が低調な地域 であり、注目している。ただ、 2018年にはM7クラスのスロー スリップが発生していた
活発化異常	小笠原諸島周辺 (W)	Medium	2023年10月初旬より、鳥島 西方で活発な地震活動開 始。10月には津波注意報が 2度発令された	2022年10月	継続中		西之島の噴火や硫黄島の噴火な ど、この海域では火山活動が活 発化している
活発化異常	日向灘 (Ff)	High	2024年4月に豊後水道で M6.6の地震が発生したが、 この活発化は宮崎沖が中心	2024年2月	継続中		8月8日、臨時情報発表の元と なったM7.1の地震が発生 さらに2025年1月13日にもM6.9 が発生
別種の異常	房総半島沖 (Aa)	High	過去の地震活動解析から房 総半島沖で被害地震発生の 可能性大	2025年末まで		過去の地震発生状 況を考慮し、予測 期間を2025年末ま でとした	房総半島沖では1912年、1950 年、1987年とM6.5前後の地震 が発生しており、スロースリッ プと関連している可能性大